

法人税 確定申告書（ 年分・平成〇〇年〇月〇日 事業年度分・平成△△年△月△日 ）に係る

税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面

33の2①

				※整理番号				
税理士又は 税理士法人	氏名又は名称		税理士 国税 太郎 ⑩					
	事務所の所在地		東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇					
書面作成に 係る税理士	氏 名		税理士 国税 太郎 ⑩					
	事務所の所在地		東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇					
	所属税理士会等		東京 税理士会 〇〇 支部 登録番号 第 〇〇〇〇〇号					
税務代理権限証書の提出			☒ (法人税・消費税) ・ 無					
依 頼 者	氏名又は名称		株式会社 〇〇商事 代表取締役 〇〇 一郎					
	住所又は事務所の所在地		東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇					
私（当法人）が申告書の作成に関し、計算し、整理し、又は相談に応じた事項は、下記の1から4に掲げる事項であります。								
1 自ら作成記入した帳簿書類に記載されている事項								
帳簿書類の名称				作成記入の基礎となった書類等				
依頼者が自ら起票した伝票に基づき、コンピュータ処理により作成した、仕訳帳、総勘定元帳、試算表、貸借対照表及び損益計算書。期末整理の会計伝票のみ当方作成。				会計伝票、現金出納帳、当座預金照合表、普通預金通帳、証憑書類、給与台帳、契約書綴、固定資産台帳。				
2 提示を受けた帳簿書類（備考欄の帳簿書類を除く。）に記載されている事項								
帳簿書類の名称				備 考				
各種議事録、契約書綴、決算報告書綴、一覧式総勘定元帳綴、補助元帳綴、総合仕訳帳綴、現金出納帳、当座勘定出納帳、当座小切手控、当座入金控、当座勘定照合表、普通預金通帳、預金残高証明書、受取手形記入帳、工事台帳、売上請求書控、売上領収書控、仕入請求書、源泉徴収関係綴、給与台帳、一般・請求書控、証憑書類。								
※事務 処理欄	部門	業種			意見聴取連絡事績		事前通知等事績	
					年 月 日	税 理 士 名	通知年月日	予定年月日
					・ ・		・ ・	・ ・

3 計算し、整理した主な事項

(1)	区 分	事 項	備 考
	外注加工費	請求書、領収書に基づき外注額を把握し、決済状況を確認検討した。	請求書、領収書
	修繕費・備品消耗品費	購入した物が資本的支出か一括償却資産、備品消耗品費か、又は修繕費に該当するものかどうかを備考欄の書類により検討し適正に処理されていることを確認した。	請求書、領収書
	交際費	交際費等に含まれる他科目費用の検討と、損金不算入額を算出した。	請求書、領収書
(2)	(1)のうち顕著な増減事項		増 減 理 由
	地質調査業、鳶・土木・その他工事高	公共工事の減少、コストの低下により減少。	変動のあった科目を分析し、それぞれの理由を記載しており、調査省略等の参考となる。
	家賃収入	〇名が退去した。	
	材料仕入高	受注が減少のため。	
	人件費	〇名退職したため。	
	法定福利費	欠員及び役員報酬を減額したため。	
	役員報酬	前代表者が〇月に退職したため。	
	退職金	前代表者の退職により発生。	
	固定資産売却益	退職金に充当するに当たっての評価差益。	
	雑収入	保険金の支払いがあったため。	
	旅費	受注減少のため。	
	接待交際費	売上減少を考え、経費削減に努力したため。	
(3)	(1)のうち会計処理方法に変更等があった事項		変 更 等 の 理 由
	なし		なし

		※整理番号	
4 相談に応じた事項			
事 項		相 談 の 要 旨	
役員退職金		前代表者の退職金の金額について相談を受け、臨時役員会を開催し限度額を基に支給するよう助言した。また、その計算に当たっては、通常支払われる役員報酬を基に計算し、土地・建物の評価を路線価を〇%で除する評価をもって時価とし、その金額が範囲内であることからそれに充当することとなった。	
		臨時役員会を開催するよう助言し、退職金支給額に関する検討を行っていることから、調査省略等の参考となる。	
5 その他			
総合所見 日々の取引については、整然かつ明瞭に会計処理されており、原始記録の保存状態も良好である。また、契約書、議事録、請求書等の証拠書類についても整然と保管されている。毎月の監査の徹底と日々の記帳の確認及び決算修正事項も正しく修正されていることを勘案して、この申告は適正妥当であると認められる。			